

令和7年度 第3回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時 令和8年3月11日(水) 午後1時30分から午後3時32分
開催場所 狭山市立中央公民館第1ホール
出席者 工藤委員、野口委員、前原委員、長田委員、親泊委員、高橋委員、吉野委員、菅野委員、長谷川委員、渡邊委員、河口委員
欠席者 早川委員、村上委員、柘植委員、神庭委員
教育委員会 滝嶋教育長、増島生涯学習部次長、石井社会教育課長
公民館 北田中央公民館長、吉原富士見公民館長、加藤入曾公民館副館長、池之谷水野公民館長、豊泉堀兼公民館長、高橋狭山台公民館長、宮崎新狭山公民館長、村上奥富公民館長、山岸柏原公民館長、須藤広瀬公民館長、齊藤水富公民館長、吉田中央公民館副館長
傍聴者 なし

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事

(1) 令和8年度公民館事業の概要について

令和8年度公民館事業の概要について資料に基づき中央公民館長から説明

質疑なし

(2) 令和8年度狭山市公民館基本方針及び重点目標(案)について

令和8年度狭山市公民館基本方針及び重点目標(案)について資料に基づき中央公民館長から説明

質疑なし

(3) 令和8年度各公民館重点目標及び事業計画(案)について

令和8年度各公民館重点目標及び事業計画(案)について資料に基づき各公民館長から説明

委員 水富公民館は公益社団法人全国公民館連合会が主催する全国公民館インターネット活用コンクールについて、連続で受賞されていますね。

水富公民館の講座で終活講座を受講させていただいた。終活と相続と睡眠、大変勉強になった。全体を通してみると、富士見公民館の近隣の高校との連携や、母親講座の親子サロンすくすくなど、参加される母親が増えている。公民館は地域からの安心感、信頼感、地域の人たちだけではなく、教育機関や企業から見ても安心できる、信頼できる機能をもっていて、存在感もある施設だと思う。ぜひ、もう一度それぞれの館の良さを自覚いただいて、今回も各公民館の計画を聞いていると、自分たちの強みを活かして地域の資源や力を繋いでいる取り組みが多数みられる。これだけ繋げる力は公民館以外にはないと思うので、ますます繋いで、繋ぎまくっていただいて、よりよい事業の取り組み、地域の中での働きを継続しつつ、パワーアップしていただければと思う。

委員 各公民館の青少年事業として実施している開放教室について、予約は必要なのか。

事務局 公民館によって、予約が必要な館と、必要がない館がある。

委員 子どもが受験生だったが、市民交流センターの1階部分を毎週のように使わせていただいた。空いていないときは図書館を利用していた。家では勉強が出来なくて、施設が利用できると、こちらとしてもありがたい。公民館に足を運ぶきっかけにもなるので、使いやすくしていただけるとありがたい。

(4) 令和7年度公民館等利用者アンケート調査結果について

令和7年度公民館等利用者アンケート調査結果について資料に基づき中央公民館長及び水野公民館長から説明

委員 利用者の評価を唯一見える化できるのが利用者アンケートだと思う。事情はあると思うが、サンプル数を増やしてほしい。増えれば、内容の信頼性も高まる。

公民館長をしているときは、このアンケートを重要視していた。先ほどの説明で利用者の要望に応えれば評価が上がるとの話があったが、そういう側面もあると思うが、私はダメなものはダメと言っていた。間違っていると思うことは、相手のプライドを尊重しながらきちっと話をしていた。真剣に向き合った結果理解してもらえず、低評価をつけられたものはしょうがない。やるべきことをきちっとやって、それと、公民館は目的が明確に定まっているので、いろいろな利用者があるが、目的を達成するために、いかに工夫をして、かつ、生涯学習、地域の学習力などに寄与していくかだと思う。それを果たしながら、あまりアンケート結果に左右される必要はないと思う。日々の努力を行って

いただければと思う。

4 その他

(1) 次回公民館運営審議会の開催時期について

次回公民館運営審議会の開催時期について中央公民館副館長から説明

5 閉 会